

## 実践シミュレーションの4ステップ

【ステップ1:9月9日 10:00】  
シナリオ確認



HPに公開される地区別の「発災直後」と「1週間後」の情報を確認してください。

【ステップ2:発災1～3日目】  
自施設での安否・被害確認

シナリオに基づき、命と事業を守るための「自助」を擬似的に行ってください(報告不要)。



入力して  
終わりではない、  
入力から支援  
が始まる！

重複報告は  
「地域のステーション  
同士が助け合う」ため

行政へ報告済みでも、協議会が迅速に動く(互助)ためには直接の inputs が不可欠です。



被災データは  
具体的なアクション  
(公助)へ

看護協会・医師会への働きかけや、県への物品要請(マスク・ガウン等)に即座に活用されます。



入力から始まる  
「互助・共助・公助」の輪

重複報告は  
「地域のステーション  
同士が助け合う」ため

行政へ報告済みでも、協議会が迅速に動く(互助)ためには医療の inputs が不可欠です。

被災データは具体的な  
アクション(公助)へ

看護協会・医師会への働きかけや、県への物品要請(マスク・ガウン等)に即座に活用されます。



【ステップ3:1週間後の予測】  
被害をリアルに考える



インフラ停止や道路寸断、孤立など、自施設で限定される物品不足を予測します。

【ステップ4:発災4～7日目の想定】  
模擬報告の inputs

9/9 10:00 ～ 9/17 10:00の間、QRコードから予測した被害状況を送信してください。



10月中旬頃:フィードバック予定

収集した情報の分析結果と課題を、ホームページ等で共有します。

